

◆ やはり学校は素敵だ！ ◆



体育館の静寂のなか、時折しとしとと雨音も混じる。そのためかやや肌寒い感じもするが、1年生の真剣さはひしひしと伝わってくる。間隔を取って整列した中、頷く表情が何人も重なる。話が浸透していることがよくわかる一コマ。とてもうれしくなる。

本校の「性教育講演会」。今年度は、様々なメディアでもご活躍の広尾レディース
宗田 聡^{そうだ さとし}先生をお招きした。講演に入る前にお話をうかがっている中で大学が同窓であることがわかり、昔話に花が咲く。あの頃はまだキャンパスが…というような話題から、もともとは小学校の教師志望だったこと、現在のCOVID-19の悩ましい現状について、そして今後のことなど。先生が卒業なさった小学校が私の通った高校の近隣であることにも話が飛び（先生には大変失礼かもしれないけれど）、懐かしい旧友に再会したようなとても温かな気持ちになる。

多分、そんなお気持ちでご講演に臨んでくださったのだろう、冒頭に記したような、とても充実した時間となった。会の趣旨上、命に関わるお話はもちろんであるが、先生の個人的な話題にも触れつつ、様々な価値観を大事にしようと呼びかけてくださった。その中に印象的なフレーズがあった。

「人生は何度でもやり直しがきく」

長かった2ヶ月の臨時休業を何とか乗り越え、ようやく高校生活に慣れてきたであろう1年生。順風満帆なことばかりではないであろうこれからの道のりに思いを馳せ、先生が紡いでくれた言葉を大事にしたいと思う。生徒の皆さん、勇気をもって前を見よう。そして時々この言葉を思い出し、再び歩みを進めよう。

前にも書いたけれどもこんな講演会にめぐり会うことができる「学校」は、やはりとても素敵だ。